

GO ON DBS 京都工芸理論研究会（以下では「本研究会」という）は、同志社ビジネススクール（崔）および GO ON の 6 名の伝統工芸職人・事業経営者（中川・八木・細尾・松林・辻・小菅）の緊密な連携と協業に基づいて、京都工芸と伝統事業の理論化と、持続的発展を推進できる卓越な次世代工芸職人と経営者を養成することを使命としている。

その使命の実現のため、本研究会の研修コースで所定の修了要件を満たす過程において、以下のような能力・資質・感性を修得した人物に GO ON DBS 京都工芸理論研究会の修了証を授与する。

1) 伝統工芸の本質と潜在性、そして今後の新たな展望を把握する能力（知識・技能）

工芸の核心的要素となる価値観、思想と哲学を理解し、世界情勢・グローバル経済・国内経済を俯瞰しながら、工芸の強みを存分に活かす独創的な事業創造を推進し、事業上の諸問題は積極的に解決しながら、伝統産業の革新と関連事業の持続的成長と新たな展開を創出する戦略を策定し実行できる。

2) 工芸の視点からイノベーションを構想し、実践する能力（思考力・判断力・表現力）

既存の経営学や社会科学系学問では取り組まれていない、工芸のみが構築可能な独創的視座から現在と今後の経済成長の動力と潜在的市場の存在を的確に発掘し、地域経済社会の活性化を牽引するリーダーシップを発揮できる。

3) 今後の日本経済成長モデルの一例（Showcase）としての工芸都市京都の具現化に向けて グローバルな視野を備え、行動する能力（主体性・多様性・協働性）

人工知能の時代が開かれた今後のグローバル経済とビジネス競合の展開に向けて、すべての人々が「工芸人」魂とマインドをもってさらに高度な付加価値を創出するグローバルな伝統産業と文化ビジネスをリードできる。

GO ON DBS 京都工芸理論研究会（以下では「本研究会」という）は、GO ON の6名の伝統工芸職人・事業経営者（中川・八木・細尾・松林・辻・小菅）と同志社ビジネススクール（崔）の緊密な連携と協業に基づいて、京都工芸と伝統事業の理論化と、持続的発展を推進できる卓越な次世代工芸職人と経営者を養成することを使命としている。その目的のため、本研究会の研修コースでは、次のような研修生を求めている。

研究会で求める研修生像

1. 国内外の工芸に強い関心と情熱を持つ研修生
2. 工芸を学び、工芸を経て新たな事業創造やイノベーションを追求する研修生
3. 工芸と工芸関連事業にすでに（またはこれから）従事している研修生
4. 工芸の理論化を経て、日本の伝統と経済社会の新たな潜在性を探求する研修生
5. 既存の事業・専門領域にとらわれず、積極的に自らの独創的な視座から工芸を直視・探求し、既存には具体化されていない新たなビジネスモデルを構想し、実践する研修生

GO ON DBS 京都工芸理論研究会の入会までに身につけてほしいこと

1. 工芸業界に従事していない場合は、工芸の理解のための基礎知識の事前修得
2. 工芸事業従事者の場合は、既存の工芸と関連事業への知見と情報の整理
3. 高い学習意欲、研究会の研修への信頼に基づくコミットメント
4. 学習能力の基礎「読み書きそろばん」

これらの意欲、知識・経験・思考力・表現力、目的意識の明瞭性を有しているかを、応募書の審査と、必要に応じて面接入試を経て判定します。

審査時の評価基準

- 1) 動機・意欲・目標意識の高さ
- 2) 品性・協調性
- 3) 工芸知識一般
- 4) 時事問題の情報・経済社会情勢への認識・知識一般